



生徒の「主体性」と「社会性」を育む泉中学校

with コロナ時代の新たな体育大会

生徒会長 高橋かんな

新型コロナウイルスの影響で、前期最大の学校行事である「体育大会」もwithコロナ時代のものへと対応を迫られました。「例年通り」が通用しにくい今だからこそ、できることを自分たちで考え、先生たちと協議を重ねながら体育大会を作り上げてきました。開催の仕方や、種目や競技の内容やルールなど、できるだけ生徒自らが考えることを大切にすることで、これまでとは全く違う「コロナ時代の新たな体育大会」を作り上げることができました。

はじめ、コロナウイルスの影響で体育大会がなくなってしまうのではないかと思ったときはとても心配になりました。でも、「悔しい思いをしたくない」という思いも強くありました。皆が悔しい思いをせずに笑顔になってほしいと思い、この体育大会を作り上げてきました。今後もこの経験を生かし、自分にできることを全力でやろうと思います。



目指せ全国ベスト8

み わ な つ き
肥田小学校6年 三輪夏己さん

昨年、東濃地区小学生ソフトテニス大会に女子ダブルスで出場し、優勝。また、日本ソフトテニス連盟が主催する第19回全国小学生大会の県予選を勝ち進み3位入賞。千葉県白子町で行われる全国大会の切符を手にしました。新型コロナウイルスの影響で残念ながら全国大会は中止になりましたが、次の大会に向けて猛練習をしています。

テニスに興味をもったきっかけは、テニスプレーヤーの大坂なおみプロ。テレビで試合を見掛け、そのプレーのかっこよさに引き込まれたといいます。「多治見ジュニアソフトテニスクラブ」に小学校3年生の夏に加入。平日の水・木・金曜日は2時間ずつナイター練習をこなし、土日祝日も7時間ずつほぼ毎日練習をする猛特訓でめきめきと実力を付けました。

チームメイトとペアを組み、前衛のポジションで活躍。「相手が打つボールを予測し、ボレーが一発で決まったときが一番うれしい。これからはどんな相手にも強い気持ちでプレーができる選手になりたい」と語る表情からは笑みがこぼれました。